

アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんが綴るふるさとエッセイ

—あいなん音故地新— 「自信は自分で決めていい」

前回、自信を持つために過去の自分から解放するというお話をしましたが、今回は自信シリーズ第2弾!「自信は自分で決めていい」をお届けいたします。笑

自信がないって、ハッキリ言うと面倒です。想像してみてください。何もかもに自信のない自分を。とは言ってもなかなか想像できませんよね。簡単な方法として普段やっていることを自信なさげにやってみると、どれだけ面倒かすぐにわかります。

例えば、ご飯を食べるときの咀嚼、出かけるときの家の施錠、テレビのスイッチ。こんなことに自信が必要?って思うはず。もちろん、自信なんて必要ない。そして気づきます。自信がないのって面倒くさい!って。自信は自分で作るもの、というよりも、自分で"決める"もの。自由に決めていいんです。あなた自身が"私、歌には自信があるの!"と思えば、それでいい。

自信がなくて前に進めないなんてもったいない。自信がなくて挑戦できないなんてもったいない。自信がなくて何も始められないなんてもったいない。あなたがあなたの自信を決めていい。字のごとく"自分を信じる"それだけです。

(テノヒラkiku)

【はりきゅう*小菊堂】10月は22日~11月2日の予定です。
詳しくはホームページ (<http://www.kogikudo.com/>) をご覧ください。

あいなん逸品図鑑 その②

逸品 図鑑 「ショウガ」

生産者 榎本 ^{ゆうすけ}雄介さん(上大道)



愛媛CATV
の動画はこちら
から



▲新ショウガを手に持つ榎本雄介さん。父の和久さんとともにショウガ栽培を行っています。

ショウガ生産者の榎本雄介さん。農地は上大道のほか、増田や中川、広見にあり、全部で2.5haほどの規模です。「親ももう歳なので、作業が辛そうだしやろうかな」と考えて就農を決意。父の和久さんが9年前に始めたショウガ栽培に自身も2年前から取り組んでいます。

ショウガの植え付けは3月から4月にかけて行い、消毒や除草作業、水や肥料の管理をしながら10月頃まで丹精を込めて育てます。「ショウガは病気が出やすいので、それが一番苦勞するところ」と雄介さん。

10月下旬から11月にかけて収穫し、大部分は関東方面に出荷しています。「手をかければかけるだけ大きく育つし、収穫するとききれいなショウガが穫れると嬉しい」とやりがいを話し、「これから少しずつ規模を拡大していきたい」と意欲は十分です。



▲9月上旬の新ショウガ。出荷時にはこの1.5倍ほど(一株3~4kg)の大きさになると言います。